

令和4年度事業報告

令和4年中における刑法犯罪認知件数は、15,989件で、令和3年まで19年連続で減少となったが、前年比で約1,700件の増加に転じた。

また、住宅侵入窃盗、自動車盗、ニセ電話詐欺の発生が高い水準で推移するなど、県民の治安に対する不安は払拭されていない現状にある。

このような厳しい諸情勢を踏まえ、警察・県・市町村・関係団体等との連携を一層強化して、安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、下記の事業を推進した。

第1 防犯活動推進事業

1 地域安全活動事業

(1) 防犯思想の普及・高揚

ア 年間を通じた地域安全活動

警察・県・市町村・関係団体等と協働して、「みんなでつくろう安心の街」、「防犯は鍵かけ、声かけ、心がけ」をスローガンに、下記の運動期間を中心に、広報資材を活用し、年間を通して活動を推進した。

- ・ 春の地域安全運動 (4月～5月)
- ・ 夏季における犯罪抑止活動 (7月～8月)
- ・ 全国地域安全運動 (10月)
- ・ 年末における犯罪抑止活動 (12月)

イ 県民大会の開催

10月6日(木)、ザ・ヒロサワ・シティ会館において、3年ぶりに防犯ボランティア等約500名参加のもと、「第44回地域安全茨城県民大会」を開催し、防犯功労者等に対する表彰を行い、防犯意識の高揚を図った。

なお、大会において伝達する予定であった、防犯ポスターコンクール入賞者及び地域安全マップコンクール入賞者等の表彰は、コロナ禍の影響により、各学校を通じて伝達した。

ウ マスコミ等広報媒体の活用

地域安全活動に関する広報資料をマスコミ等に積極的に提供するとともに、地域安全活動の企画広告を掲載し、県民の防犯意識の高揚を図ったほか、青パトを活用しての防犯広報などにより、県民の防犯意識の高揚を図った。

エ 広報資材の作成及び購入

- ・ 幼児、小学生を誘拐・連れ去りから守る防犯を内容とするDVD教材とニセ電話詐欺の被害に遭わないための手口と対策を内容とするDVD教材2本を整備し、各地区関係団体等に貸し出して広報支援活動を支援した。
- ・ 地域安全チラシ等の広報資材を作成し、関係団体等に配布して活動を支援し、防犯意識の高揚を図った。(作成した広報資材については別添「令和4年度広報資材の作成及び購入」参照)
- ・ 全防連の助成事業の認定を受け、県警察、水戸ホーリーホックとタイアップ

し、「ながら見守り」啓発チラシとオリジナル防犯腕章を作製し、県民の防犯意識の高揚を図った。

(2) 地域安全情報の提供

ア 「ちいきあんぜん茨城」の発行

広報紙「ちいきあんぜん茨城」を年度内に4回発行し、きめ細かな犯罪情報とその防止対策を提供するとともに、防犯ボランティアの活動状況を紹介し、防犯意識の高揚と防犯ボランティアの活性化を図った。

イ インターネット、情報誌等の活用

協会ホームページでホットな犯罪情報と防犯対策をタイムリーに提供するとともに、全国防犯協会連合会発行の「安心な街に」を定期購入し、関係団体に配付して全国各県の取組状況を紹介した。

ウ 地域安全情報の共有化

県警察が発信する「ひばりくん防犯メール」等の普及促進を図った。

(3) 犯罪被害防止対策の推進

ア 住宅侵入窃盗防止対策の推進

(ア) 防犯設備等の普及広報

多発傾向にある住宅侵入窃盗の防止対策として、補助錠や防犯フィルムの取り付けや面格子の設置、防犯ガラスへの交換や防犯警報装置の取り付け等複数の防犯対策が確実に履行されるよう県民に普及促進を図った。

(イ) 鍵掛けの徹底対策

家屋の施錠等防犯対策を徹底させるため、県警察と連携して防犯ステッカーを活用した防犯診断や「かぎをかけようキャンペーン」を展開した。

イ 乗り物盗等防止対策の推進

(ア) 自動車盗、車上ねらい被害防止対策

多発している自動車盗や車上ねらいの被害を防止するため、広報啓発活動を推進するとともに、ハンドルロック、イモビライザー等の盗難防止器具の普及促進を図った。

(イ) 自転車盗、ひったくりの防止対策

自転車盗、ひったくりの被害防止を図るため、地区防犯協会と連携して防犯診断や広報啓発活動を推進した。

ウ 子供と高齢者の犯罪被害防止対策の推進

(ア) 子供を対象とする犯罪被害防止対策

① 巡回指導の実施

- ・ 幼稚園、保育園、小学校を巡回し、寸劇、紙芝居、ダンス等により犯罪被害防止指導を行った。
- ・ 防犯ビデオ、DVDを活用して、性的犯罪、声掛け事案への対応を啓発するとともに、「こどもを守る110番の家」の周知徹底を図った。
- ・ 警察、関係機関等と連携し、SNSに起因する犯罪被害から子供を守る気運を醸成させるための活動を推進し、防犯意識の高揚を図った。
- ・ 児童生徒の下校時における安全確保の見守り活動を推進するとともに、

見守り活動を行っているボランティア団体等への支援に努めた。

- ・ ウォーキング・ジョギング、犬の散歩、買い物、花の水やり等日常生活を行う際に、防犯の視点を持って子供の見守りを行う「ながら見守り」活動について、いばらき安全・安心アンバサダーを務めるプロサッカーチーム「水戸ホーリーホック」と連携した広報啓発活動を展開した。

② 防犯ポスターコンクールの開催

子供達の防犯意識の高揚を図るため、県警察と連携して小・中学生を対象に「防犯ポスターコンクール」を実施した。

※ 防犯ポスター応募数の推移

平成25年	6, 188点
平成26年	6, 625点 (+ 437点)
平成27年	8, 293点 (+1, 668点)
平成28年	9, 089点 (+ 796点)
平成29年	8, 557点 (- 532点)
平成30年	8, 960点 (+ 403点)
令和元年	9, 129点 (+ 169点)
令和2年	中止
令和3年	6, 700点 (-2, 429点)
令和4年	6, 970点 (+ 270点)

③ 地域安全マップコンクールの開催

県、県警察とタイアップして、小学生を対象とした「地域安全マップコンクール」を実施し、その作成過程を通じて子ども達の危険回避能力の向上を図った。

(イ) 高齢者を対象とする犯罪被害防止対策

高齢者を対象とした「ニセ電話詐欺」や「ひったくり」の被害防止を図るため、ポスターや、チラシ等を作成配付し、被害防止意識の高揚に努めるとともに、高齢者の集まる場所を訪問し、替え歌や寸劇などにより防犯意識の高揚を図った。

エ 青少年の健全育成及び非行防止活動の推進

(ア) 少年の薬物乱用防止活動への支援

薬物の身体への有害性を訴えるために、県警少年課青少年薬物乱用防止事業で名刺サイズの大麻乱用防止カードを県警察と連携して作製配布し、小・中・高校における薬物乱用防止教室活動を支援した。

(イ) 関係機関及びボランティアと連携した少年非行防止活動

防犯ポスターコンクールに「少年非行防止の部」を設定して、非行防止意識の浸透を図った。

茨城県青少年育成協会の諸施策に協力するとともに、少年指導委員等ボランティア団体等の活動を支援した。

オ 防犯器具等の普及促進活動

犯罪の予防と自らの身を守るため、防犯グッズの普及促進に努めた。

その結果、地区防犯協会、防犯ボランティア団体等に対し、

防犯腕章	630枚	防犯連絡所標示板	500枚
防犯手帳	447冊	防犯下敷	21,338枚
防犯カレンダー	524枚	防犯連絡員の手引き	560冊
青パト活動マニュアル	100冊		

を販売した。

カ 犯罪被害者対策への支援

県、県警察及び犯罪被害者支援機関が行う会議、キャンペーン活動に参加するとともに、その活動を支援した。

(4) 防犯ボランティア団体の結成促進・育成・支援

ア 防犯ボランティア活動の活性化

防犯ボランティア団体の結成を促進した結果、令和4年末で、1,015団体、57,402人、青パト団体222団体、青パト車両1,034台となった。

イ 地区防犯協会女性部の結成促進と活性化

令和4年度、地区防犯協会女性部の結成を目指して関係者に働きかけたが、準備段階にとどまり、新規結成には至らなかった。

11月には、栃木県宇都宮市内において開催された、栃木・群馬両県女性部との合同研修会に参加し、女性部活動の活性化を図った。

(5) 表彰活動

ア 県表彰

- | | | | |
|------------------|------|----------------|------|
| (ア) 地域安全功労者 | 35名 | (イ) 地域安全功労団体 | 15団体 |
| (ウ) 地域安全ボランティア団体 | 15団体 | (エ) 地域安全特別功労団体 | 3団体 |
| (オ) 優良防犯連絡員 | 120名 | | |

イ 管区表彰

- | | | | |
|-----------|----|------------|-----|
| (ア) 防犯功労者 | 8名 | (イ) 防犯功労団体 | 2団体 |
| (ウ) 特別功労者 | 1名 | (エ) 特別功労団体 | 1団体 |

ウ 全国表彰

- | | | | |
|------------|-----|----------------|-----|
| (ア) 防犯荣誉金賞 | 2名 | (イ) 防犯荣誉銀賞 | 4名 |
| (ウ) 防犯荣誉銅賞 | 12名 | (エ) 功労ボランティア団体 | 1団体 |

エ 内閣府表彰（当協会から上申）

エイジレス賞 2名

2 自転車等防犯登録事業

(1) 自転車等盗難被害防止対策の推進

自転車やオートバイの盗難被害防止のため、ポスター、チラシ等を作成配付するなど防犯広報啓発活動を推進するとともに、駐輪場の防犯診断、自転車防犯登録度の周知徹底等を推進した。

(2) 自転車防犯登録入力業務の推進

茨城県自転車二輪自動車商協同組合と協働し、自転車（原動機付自転車を含む。）の防犯登録入力業務を適正に推進した。

令和4年度中の登録件数 10万741件（前年度比 -3,789件）

第2 風俗環境浄化事業

1 茨城県公安委員会からの受託事業

「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に基づき、茨城県公安委員会からの委託を受け、社交飲食店、料理店と前年度未受講のぱちんこ屋、まあじゃん屋、ゲームセンターを対象に風俗営業管理者講習会を計11回実施し、353店、353名が受講した。

2 少年を取り巻く有害環境浄化活動

- (1) SNSに起因する事案から、子どもを守るためのフィルタリングに関し、チラシ、ビデオ等を活用した広報啓発活動を行った。
- (2) 関係機関と連携して、違法広告物、落書き等の少年に有害な環境を排除する活動を支援した。

第3 その他公益目的を達成するための事業

1 会議等の開催及び出席

(1) 理事会、評議員会の開催

通常理事会 令和4年5月20日(金) セキショウ・ウェルビーイング福祉会館

定時評議員会 令和4年6月 3日(金) セキショウ・ウェルビーイング福祉会館

通常理事会 令和5年3月16日(木) セキショウ・ウェルビーイング福祉会館

(2) その他

関東防犯協会連絡協議会 令和4年6月24日(金) 埼玉県

都道府県防犯協会専務理事全国会議及び風俗環境浄化事務運営管理者研修会

令和4年7月21日(木) 東京都

全国地域安全運動中央大会

令和4年9月29日(木) 東京都

2 情報公開

- ・ 当協会のホームページを常にリニューアルし、関連情報を積極的に掲載提供した。
(アドレス <https://ibohan.jimdofree.com>)
- ・ 協会の役員、事業、予算等を公益法人共同サイトで公開した。
(アドレス <http://www.disclo-koeki.org/03a/00565/index.html>)

令和4年度広報資材の作成及び購入

種 類	作成・購入日	部・枚数	金 額	備 考
チラシ	7/19	20,000	99,000	「ながら見守り」チラシ(作成)(全防連助成事業と連携)
	9/22	32,000	184,800	「全国地域安全運動」チラシ(作成)
	9/22	5,500	55,000	「全国地域安全運動」チラシ(購入)
	12/6	26,000	183,040	「年末年始特別警戒」チラシ(作成)
	3/24	20,000	160,600	「春の地域完全運動」チラシ(作成)
	合計	103,500	682,440	
ポスター	9/22	500	132,000	「全国地域安全運動」ポスター(購入)
	11/29	2,000	92,400	「防犯ポスターコンクール」入選作使用ポスター(作成)
	合計	500	224,400	
新聞広報	6/21	読売新聞	22,000	「詐欺・悪質商法にご注意」広報
	10/9	茨城新聞	100,000	「全国地域安全運動特集号」広報
	12/15	読売新聞	22,000	「詐欺・悪質商法にご注意」広報
	1/28	産経新聞	30,000	「茨城県民の警察官」広報
	合計		174,000	
広報紙	4・8・11・2	8,050	208,092	「ちいきあんぜん茨城」年4回発行
	毎月	2,922	292,030	「安心な街に」年間購読料
	合計		500,122	
DVD(貸出用)	2/27	1	61,050	ズッコケ三人組のぼうはん教室
DVD(貸出用)	2/27	1	65,450	身近な特殊詐欺の手口と対策
	合計		126,500	
全防連・県防犯協会・県警共同事業	7/19	200	158,400	水戸ホーリーホックと連携した「ながら見守り」腕章作成
県警地域部共同事業	11/15	10,000	96,800	「ポケットティッシュ」作成(外国人への広報啓発)
県防犯協会・県警少年課共同事業	10/7	6,000	99,660	「大麻乱用防止カード」作成(青少年健全育成事業)
	合計		354,860	
広報啓発品	1/31	240	39,850	「(公財)茨城県防犯協会名入れタオル」作成
防犯下敷き	3/7	162	14,256	「イカのおすし下敷き」(作成し、各地区へも斡旋した)
		総合計	2,116,428	